

機動建設工業は、一  
スパン一キロ以上にわ  
たり掘り進む長距離急  
曲線推進工法（アルテ  
イミット工法）などを  
使い下水道などのトン  
ネル工事を手がける専  
業大手。独自の工法に  
よるコスト競争力と技  
術力の強化で、シール  
ド工法に比べ二割以上  
のコスト安、納期短縮  
を武器に、「従来の都  
市トンネル工事の主力  
工法だったシールド工  
法にかかる工法として  
普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。

戦後間もない一九四六年の設立で、来年創立五十五周年を迎える。設立一年目に兵庫

スパン一キロ以上にわ  
たり掘り進む長距離急  
曲線推進工法（アルテ  
イミット工法）などを  
使い下水道などのトン  
ネル工事を手がける専  
業大手。独自の工法に  
よるコスト競争力と技  
術力の強化で、シール  
ド工法に比べ二割以上  
のコスト安、納期短縮  
を武器に、「従来の都  
市トンネル工事の主力  
工法だったシールド工  
法にかかる工法として  
普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。

スパン一キロ以上にわ  
たり掘り進む長距離急  
曲線推進工法（アルテ  
イミット工法）などを  
使い下水道などのトン  
ネル工事を手がける専  
業大手。独自の工法に  
よるコスト競争力と技  
術力の強化で、シール  
ド工法に比べ二割以上  
のコスト安、納期短縮  
を武器に、「従来の都  
市トンネル工事の主力  
工法だったシールド工  
法にかかる工法として  
普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。

県尼崎市でわが国で初めて地下を掘り進む推進工法を実用化、そのパイオニアとして現在まで施工延長は一八七〇キロの実績を誇る。

今年一月には技術本部を新設するとともに、公共投資拡大による恩恵は極めて大きい。地方自治体の財政

官公署関連工事が売上高の九〇%以上をしめ、公共投資拡大によつ各種の独自工法の中でも「アルティミット

工法」は従来の直線推進工法や普通曲線推進工法では困難だった長

距離、急曲線推進施工の導入や平面測量の精

度向上のため電磁誘導システム（ULIS）も実用化され、建設現場で

このほか、鉄道や山道、環境関連投資にかかるものが大きいだ

ら、高精度で実現。また、新滑材（アルティミットK）の充てんを効率管

理する自動滑材充てんめない場所での橋脚た

る方針だ。木村社長は二、三年後に倍増させ

る「収益力が高まれば増

加する」としている。

（吉田昌弘）

## 企業最前线

### 施工延長実績 1870キロ

工法では困難だった長

度向上のため電磁誘導

システム（ULIS）

を架けられる「プレス

トレスコンクリート

（PCC）橋工法」も低

コストと工期短縮で注

討する」として

いる。

### 社長 木村 信彦氏

（きむら・のぶひこ）

化、一スパン延長一キロ以上の技術開発を完了した。

さらに二年前から実

用化した都心部の道路

を掘り起こさずに地中

推進工事ができる「ス

テーション工法」も、

道路上に立て坑を掘ら

と前期比六%増、経常

利益は五億円で同三〇

など交通機関の妨げに

%増、税引利益は二億

化、一スパン延長一キロ以上の技術開発を完了した。

さらに二年前から実用化した都心部の道路を掘り起こさずに地中

推進工事ができる「ステーション工法」も、

道路上に立て坑を掘ら

と前期比六%増、経常

利益は五億円で同三〇

など交通機関の妨げに

%増、税引利益は二億

円で同六六%増を目指

めでいる。売上高の約一九%をしめる兼業

（吉田昌弘）

火曜日に掲載

【会社概要】▽本社：大阪市福島区福島4の6の31、506・6458・5461▽事業内容：地中埋設工事、ブレーストレスコンクリート工法工事業▽売上高：290億円（2000年5月期予想）▽従業員：約460人。